

場所選び

□ 何階建てのビル（会場）がいい？

3階以下の建物だと、エレベーターが無いかも？
L 車いすユーザーやベビーカーの方は会場に来られないかもしれません。

□ 駅からどれぐらい歩く？

イベント会場までの道のりが遠いほどたどり着くのが大変。バリアに会う確率も多くなります。
L わかりやすい目印がなければ道に迷ってしまうかも…

□ 多目的トイレはある？

会場選びは多目的トイレがあることがとっても重要！
L 障がいを持つ方が多目的トイレのどの部分を必要としているかはそれぞれ違います。
多目的トイレまでのルートやどんな機能があるかもチェックしておきましょう。



会場選びの時は、可能な限り
事前に下見をしておきましょう！



プログラムづくり

□ 誰にでもわかりやすく、言葉は伝わるような内容になっている？

L 普段、自分の活動で当たり前で使用している言葉は専門用語かも？
あらためて「やさしい日本語」に変換してみましょう。

例

【放課後児童クラブ／学童保育】→ 親（お父さん・お母さん）が働いているとき、小学生の
子どもの世話をしてもらうことができること。

【こども食堂】→ こどもに安い料金や無料で食事を出す居場所。

□ 休憩時間はちゃんとある？

L ひとが集中できる時間は一般的に 15 分・45 分・90 分と言われています。自分のイベントを
しっかり楽しんでもらうためにも、「休憩時間をきちんと長めに設定する」「途中退室 OK と表示」
「全員が戻ってきてからイベント再開」などの工夫をしてみましょう。

チラシづくり

□ 誰が見てもわかりやすいものになっている？

L オシャレなフォントもいいけど、誰でも読みやすい「UD（ユニバーサルデザイン）フォント」の使用が
おすすめです。小文字の「l」（エル）と大文字の「I」（アイ）など、形が似ていて誤読されやすい文字も
間違えずに読むことができます。また、難しい言葉は言い換えたり、ルビ（よみがな）をふって、
やさしい日本語を意識しましょう。

□ チラシにのせる情報は適切？

L そもそも面白そうかどうか以前に、初めての人が参加できそうか判断できる情報が
ちゃんと載っている？

- ・住所、地図、そのイベントがどんなものか想像できそうな写真やイラストなど
- ・多目的トイレやエレベーターがあるかどうか、アイコンが載っているとわかりやすい！
- ・チラシなどで「障がいのある人の参加については事前にお声がけください」と書いてあると、
声かけすれば行けるかもという安心感が生まれます。要望例・見本などがあるといいかも。

